

大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度実績の検証結果について

【基本目標Ⅲ】

基本目標		基本的方向					
Ⅲ. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	➡	①結婚・出産・子育てしやすい環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が希望どおりに結婚し、子どもが持てるように、結婚から子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を充実させる。 子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくりを進める。 				
事業内容		KPIの達成状況					
<p>■1. 結婚から子育てまでの切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大川テラツツァ内に大川・大木出会いサポートセンターの窓口を開設し、婚活イベントの参加募集や会員に対する相談業務等を行った。 イベント(3回)およびセミナー(1回) 延べ参加者数・・・82人 産前産後期の過程に対する訪問援助活動、各種イベント等への託児スタッフ派遣や子育て用品お譲り会の開催を行った。 子供発達支援事業について、発達相談や教室の開催、幼児教育カウンセラーの派遣を行った。 大川中央公園リニューアル事業については、周辺環境を含め現状を把握し、課題を整理してゾーニング(案)の作成を行った。 <p>■2. 子育て応援拠点の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センター事業について、4か月健診会場でのチラシ配布など事業啓発を行い、会員登録説明会(40回)や研修会(5回)、みまもり会員養成講座(4回)を開催した。 活動実績・・・245件 子育て支援総合施設整備計画策定委員会を開催し、「大川市子育て支援総合施設整備計画」を策定した。 <p>■3. 子育て世帯への経済的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や保育園の保育料を国の基準より約70%減額する施策を引き続き実施した。 平成28年10月より福岡県基準が拡大されたことから、本市においても、同月より小学6年生までの通院医療費助成(1,200円/月の自己負担上限)を拡大実施した。 		<p>KPIの達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の子育て環境や支援への満足度については、5年ごとに行うアンケート調査を基準としているため、実績値が掲載できていない。 ファミリーサポートセンター利用件数については、順調に増加している。 					
課題		<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 婚活応援事業については、専門の相談員を配置していなかったため、会員に対するアドバイス等が不十分であったと思われる。 ファミリーサポートセンター事業については、会員数や活動件数は増加しているものの、みまもり会員数が伸び悩んでいる。 					
今後の方針		<p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 婚活応援事業については、専門の相談員を配置し、会員に対するフォローやアドバイスを充実させるとともに、会員数の増加を図る。 託児スタッフの派遣や子育て用品お譲り会、ファミリーサポートセンター事業などについては、多数の利用があり、安心して出産や育児を行うことができ、社会全体で子育てを支援する体制整備に効果があるため、継続して実施する。 子育て支援総合施設については、30年度に基本設計を行う予定である。 子ども医療費助成については、国の幼児教育の段階的無償化が平成31年10月から一部開始されるため、近隣の動向を見ながら、事業を継続していく。 					
KPI		策定時の現況値 ⇒H31年度目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域の子育て環境や支援への満足度	15.4% ⇒70%	調査実施なし	調査実施なし	調査実施なし			
ファミリーサポートセンター利用件数	20件 ⇒365件	—	88	245			
検証委員会からの意見等							
<p>子育て世代など若い世代に対し情報を伝えるためには、インターネット上で分野、団体間の情報がつながっていることが重要である。</p>							

基本目標		基本的方向	
Ⅲ. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	➡	②活力と誇りある学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の大川を担う子どもたちに確かな学びの教育、豊かな心と健やかな体を育む教育、信頼される学校教育環境づくりを通して、教育水準の維持向上並びに活力と誇りのある学校教育の充実を推進する。 ・子どもたちの生きる力を育むため、幼児期から発達や学びの連続・発達する保・幼・小中連携教育、学校・家庭・地域が連携した教育に取り組む。

事業内容
<p>■1. 未来を拓く学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校において大川市で作成した「素読・音読・朗読集 唱」「おおかわの歴史」の活用や、ふるさと学習・職場体験などを通して大川市の伝統や文化について学ぶ機会を作った。 ・「生活習慣・家庭学習のすすめ」を小学校入学前の家庭や転入家庭へ配布した。 <p>■2. きめ細かな教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に教職員有資格者等の算数学習支援員を配置し、中学校に非常勤講師を配置した。

KPIの達成状況
全国学力・学習状況調査の正答率については、小学校・中学校ともに前年度より正答率が上昇した。

課題
特になし

今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・大川市の伝統工芸・産業を学ぶことにより、郷土の人・もの・ことへの関心や理解を深め、郷土愛・自尊感情を高めていきたい。 ・学習指導要領が改正されるため「生活習慣・家庭学習のすすめ」も改正していきたい。 ・英語教育のための職員を確保し配置したい。

KPI	策定時の現況値 ⇒H31年度目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全国学力・学習状況調査の正答率	↗	—	小学生↘ 中学生↘	小学生↗ 中学生↗		

検証委員会からの意見等
特になし